

学修成果達成度調査 看護学部 結果報告

2022年9月8日

IR室

看護学部 片田 千尋

医学部（医療統計学） 高橋 佳苗

ディプロマポリシーを基準にした学修成果達成度の調査について

【目的】 ディプロマポリシー(DP)は、学生が卒業時点で獲得すべき事項であるが、本学では途中段階における修得状況の把握ができていなかった。そのため、今年度より、各学年の達成度調査を行うことで、学生の学修の達成状況を把握するとともに、今後のカリキュラム作成等の教育に活用するために実施した。

【方法】 moodleを用いた記名式アンケート調査

【期間】 2022年8月1日～8月12日（うち、期間延長：8月9日～12日）
[*リマインド：8月5日, 9日, 12日に非回答者のみにメールにて実施]

【回収率】 1年：99.1%（108/109名中）
2年：94.8%（111/117名中）
3年：89.0%（97/109名中）
4年：96.1%（98/102名中）

【解析】 各学年におけるアンケート回答結果を記述した。また、2～4年生については、アンケートの回答ごとの前年度F-strick GPAの分布との関連をTableauを用いて分析した。

【質問項目】 看護学部 1, 2年生用

Q.01 看護の対象となる人と健康を包括的に捉え、看護の対象となる人の尊厳と権利の擁護について理解することができましたか？ (人間の尊厳)

Q.02 多様な文化を持って生活する人々の生き方や価値観を理解することができましたか？ (豊かな人間性)

Q.03 看護を提供するうえで必要な専門的知識および論理的思考を身につけることができましたか？ (知識と論理的思考)

Q.04 看護に必要な専門的知識を用いて、論理的思考に基づき問題解決の方略を検討することができましたか？ (看護実践)

Q.05 看護技術の実践に関連する基礎的知識と実践の根拠を理解し、安全で確実な技術を身につけることができましたか？ (看護技術)

Q.06 多様な価値観、倫理観を尊重し、対象者の状況に応じたコミュニケーション技法を用いて対象者との信頼関係の構築に取り組むことができましたか？ (対象者との信頼関係)

Q.07 医療・保健・福祉のチームの各専門職種の専門性および役割や責任、連携について理解することができましたか？ (チームにおける専門性の理解)

Q.08 医療チームの中で、他職種と有効かつ協力的にコミュニケーションをとることの意義を理解し、チームメンバーと協働して対象者への基本的な対応を考えることができましたか？ (専門職としての責任)

Q.09 地域的・国際的動向に関心をもち、そこに生活する人々の健康問題について検討することができましたか？ (国際社会における看護の役割)

Q.10 看護学を探究する者として、自己の知識・行動・態度を客観的に評価できましたか？ (自己研鑽)

【質問項目】 看護学部 3, 4年生用

- Q.01 人間および生命の尊厳に対して、真摯に向き合うことができましたか？（人間の尊厳）
- Q.02 地域社会から国際社会に至る、多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を備えることができましたか？（豊かな人間性）
- Q.03 看護に必要な専門的知識および論理的思考を身につけることができましたか？（知識と論理的思考）
- Q.04 看護を提供するための問題解決に向けての方略を選択し、実践することができましたか？（看護実践）
- Q.05 看護の基本技術を的確に実施することができましたか？（看護技術）
- Q.06 コミュニケーション技法を用いて、対象者と信頼関係を築くことができましたか？（対象者との信頼関係）
- Q.07 医療・保健・福祉のチームにおける各専門職種の専門性および役割を理解することができましたか？
（チームにおける専門性の理解）
- Q.08 医療チームの中で他職種と有効かつ協力的にコミュニケーションをとり、専門職としての責任ある行動をすることができましたか？（専門職としての責任）
- Q.09 地域的・国際的動向に関心を持ち、それぞれの地域や国の文化を通して、医療・保健・福祉の課題と看護職者の役割を展望することができましたか？（国際社会における看護の役割）
- Q.10 自己の知識・行動・態度の客観的な評価に基づき、課題を見出し、主体的・創造的に取り組むことができましたか？（自己研鑽）

【結果】

1・2年生の回答

回答	n (%)	1年 n = 108	2年 n = 111
Q.01 人間の尊厳			
3. 十分にできた	72 (66.7)	58 (52.3)	
2. ある程度できた	36 (33.3)	49 (44.1)	
1. あまりできなかった	0 (0)	3 (2.7)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.02 豊かな人間性			
3. 十分にできた	71 (65.7)	60 (54.1)	
2. ある程度できた	36 (33.3)	46 (41.4)	
1. あまりできなかった	1 (0.9)	4 (3.6)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.03 知識と論理的思考			
3. 十分にできた	62 (57.4)	48 (43.2)	
2. ある程度できた	42 (38.9)	58 (52.3)	
1. あまりできなかった	4 (3.7)	4 (3.6)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.04 看護実践			
3. 十分にできた	51 (47.2)	50 (45.0)	
2. ある程度できた	52 (48.1)	56 (50.5)	
1. あまりできなかった	5 (4.6)	4 (3.6)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.05 看護技術			
3. 十分にできた	66 (61.1)	51 (46.8)	
2. ある程度できた	40 (37.0)	52 (46.8)	
1. あまりできなかった	2 (1.9)	7 (6.3)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	

回答	n (%)	1年 n = 108	2年 n = 111
Q.06 対象者との信頼関係			
3. 十分にできた	64 (59.3)	47 (42.3)	
2. ある程度できた	39 (36.1)	56 (50.5)	
1. あまりできなかった	5 (4.6)	7 (6.3)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.07 チームにおける専門性の理解			
3. 十分にできた	78 (72.2)	53 (47.7)	
2. ある程度できた	30 (27.8)	54 (48.6)	
1. あまりできなかった	0 (0)	3 (2.7)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.08 専門職としての責任			
3. 十分にできた	72 (66.7)	54 (48.6)	
2. ある程度できた	35 (32.4)	54 (48.6)	
1. あまりできなかった	1 (0.9)	2 (1.8)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.09 国際社会における看護の役割			
3. 十分にできた	64 (59.3)	42 (37.8)	
2. ある程度できた	41 (38.0)	54 (48.6)	
1. あまりできなかった	3 (2.8)	14 (12.6)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	
Q.10 自己研鑽			
3. 十分にできた	59 (54.6)	52 (46.8)	
2. ある程度できた	46 (42.6)	55 (49.5)	
1. あまりできなかった	3 (2.8)	3 (2.7)	
0. 全くできなかった	0 (0)	1 (0.9)	

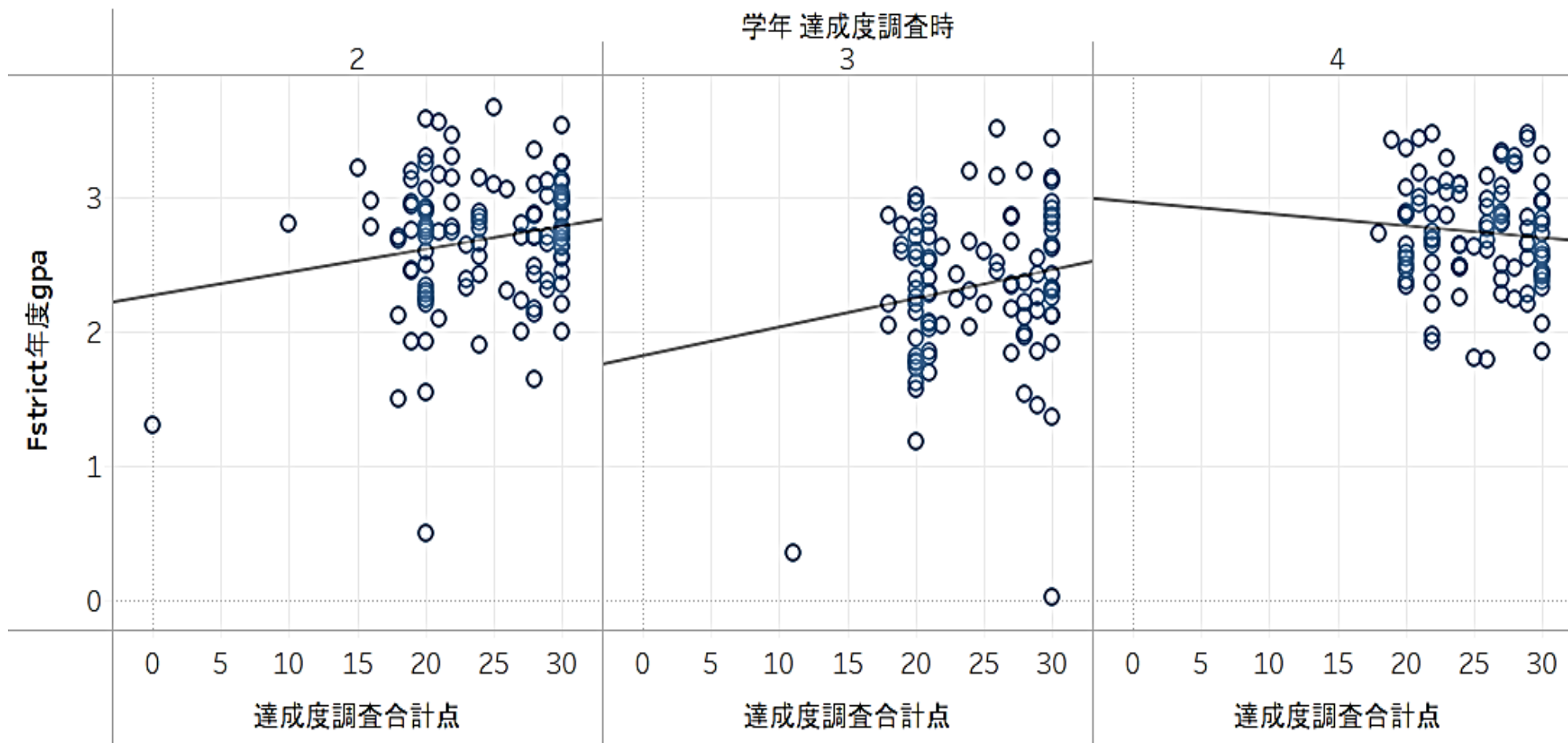
【結果】

3・4年生の回答

回答	n (%)	3年 n = 97	4年 n = 98
Q.01 人間の尊厳			
3. 十分にできた	59 (60.8)	70 (71.2)	
2. ある程度できた	36 (37.1)	28 (28.6)	
1. あまりできなかった	1 (1.0)	0 (0)	
0. 全くできなかった	1 (1.0)	0 (0)	
Q.02 豊かな人間性			
3. 十分にできた	46 (47.4)	55 (56.1)	
2. ある程度できた	47 (48.5)	42 (42.9)	
1. あまりできなかった	4 (4.1)	1 (1.0)	
0. 全くできなかった	0 (0)	0 (0.0)	
Q.03 知識と論理的思考			
3. 十分にできた	46 (47.4)	46 (46.9)	
2. ある程度できた	51 (52.6)	51 (52.0)	
1. あまりできなかった	0 (0)	1 (1.0)	
0. 全くできなかった	0 (0)	0 (0.0)	
Q.04 看護実践			
3. 十分にできた	52 (53.6)	52 (53.1)	
2. ある程度できた	45 (46.4)	46 (46.9)	
1. あまりできなかった	0 (0)	0 (0)	
0. 全くできなかった	0 (0)	0 (0)	
Q.05 看護技術			
3. 十分にできた	43 (44.3)	36 (36.7)	
2. ある程度できた	51 (52.6)	58 (59.2)	
1. あまりできなかった	3 (3.1)	4 (4.1)	
0. 全くできなかった	0 (0)	0 (0)	

回答	n (%)	3年 n = 97	4年 n = 98
Q.06 対象者との信頼関係			
3. 十分にできた	43 (44.3)	63 (64.3)	
2. ある程度できた	52 (53.6)	34 (34.7)	
1. あまりできなかった	0 (0)	1 (1.0)	
0. 全くできなかった	2 (2.1)	0 (0)	
Q.07 チームにおける専門性の理解			
3. 十分にできた	45 (46.4)	59 (60.2)	
2. ある程度できた	48 (49.5)	39 (39.8)	
1. あまりできなかった	3 (3.1)	0 (0)	
0. 全くできなかった	1 (1.0)	0 (0)	
Q.08 専門職としての責任			
3. 十分にできた	45 (46.4)	57 (58.2)	
2. ある程度できた	42 (43.3)	39 (39.8)	
1. あまりできなかった	8 (8.2)	2 (2.0)	
0. 全くできなかった	2 (2.1)	0 (0)	
Q.09 国際社会における看護の役割			
3. 十分にできた	42 (43.3)	42 (42.9)	
2. ある程度できた	48 (49.5)	56 (57.1)	
1. あまりできなかった	7 (7.2)	0 (0)	
0. 全くできなかった	0 (0)	0 (0)	
Q.10 自己研鑽			
3. 十分にできた	46 (47.4)	55 (56.1)	
2. ある程度できた	48 (49.5)	43 (43.9)	
1. あまりできなかった	2 (2.1)	0 (0)	
0. 全くできなかった	1 (1.0)	0 (0)	

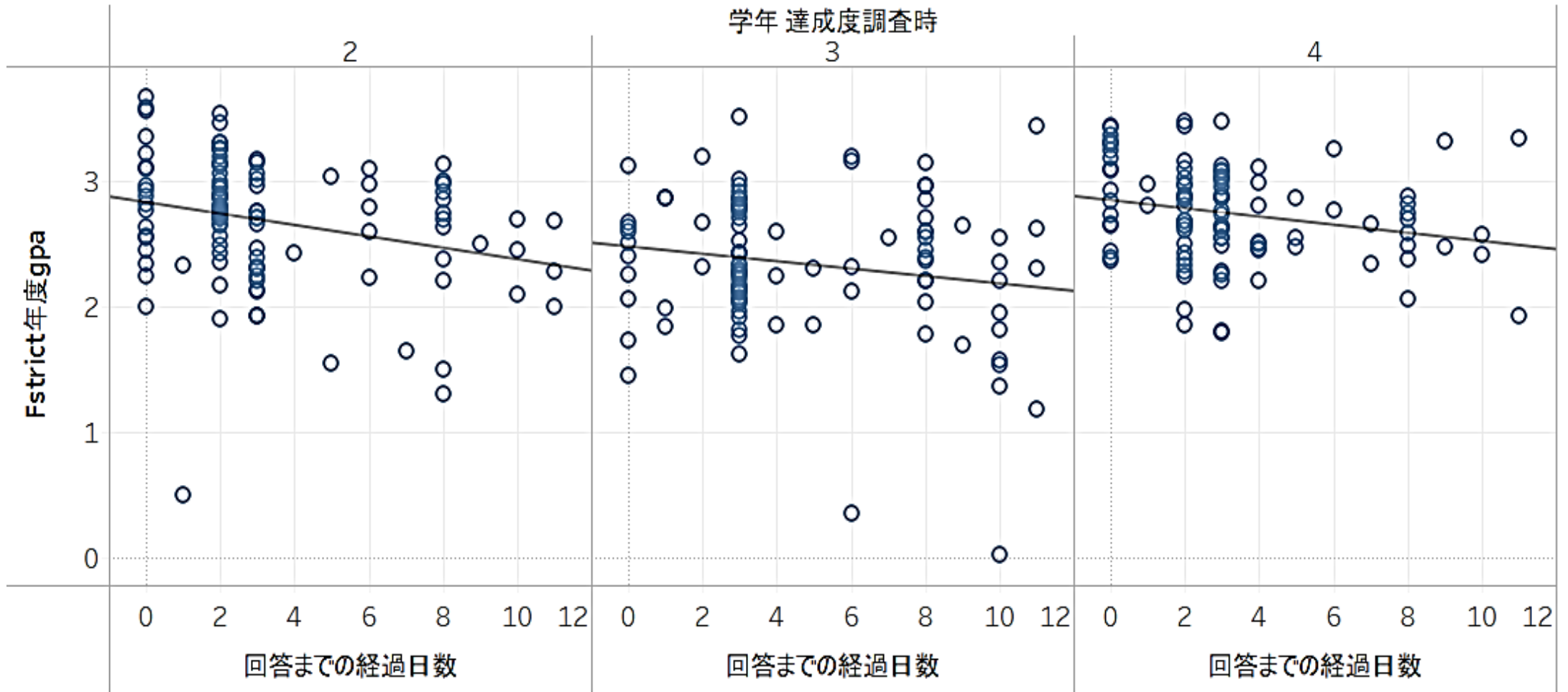
修学達成度調査の合計点とGPA(2021年度)の関連



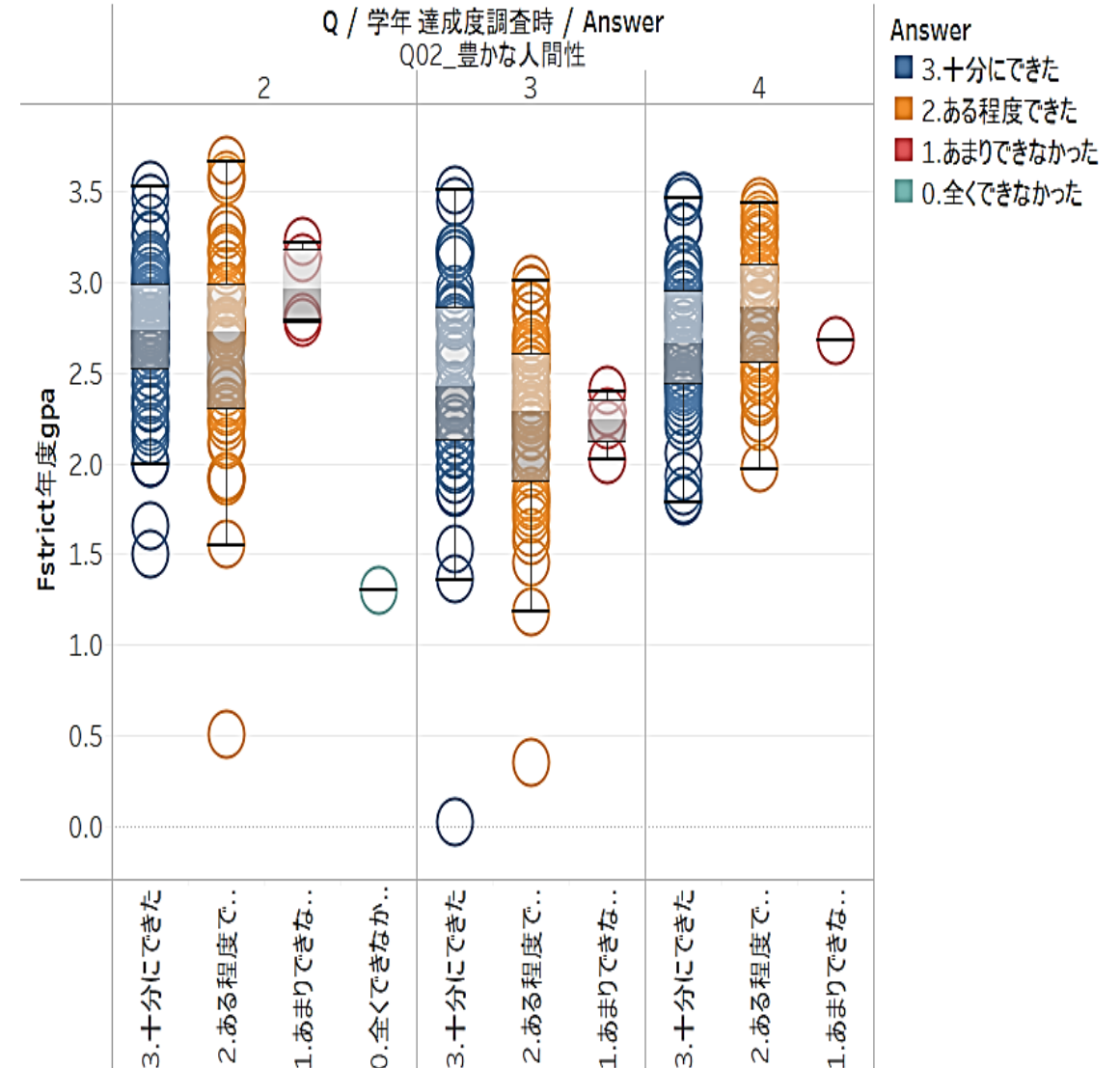
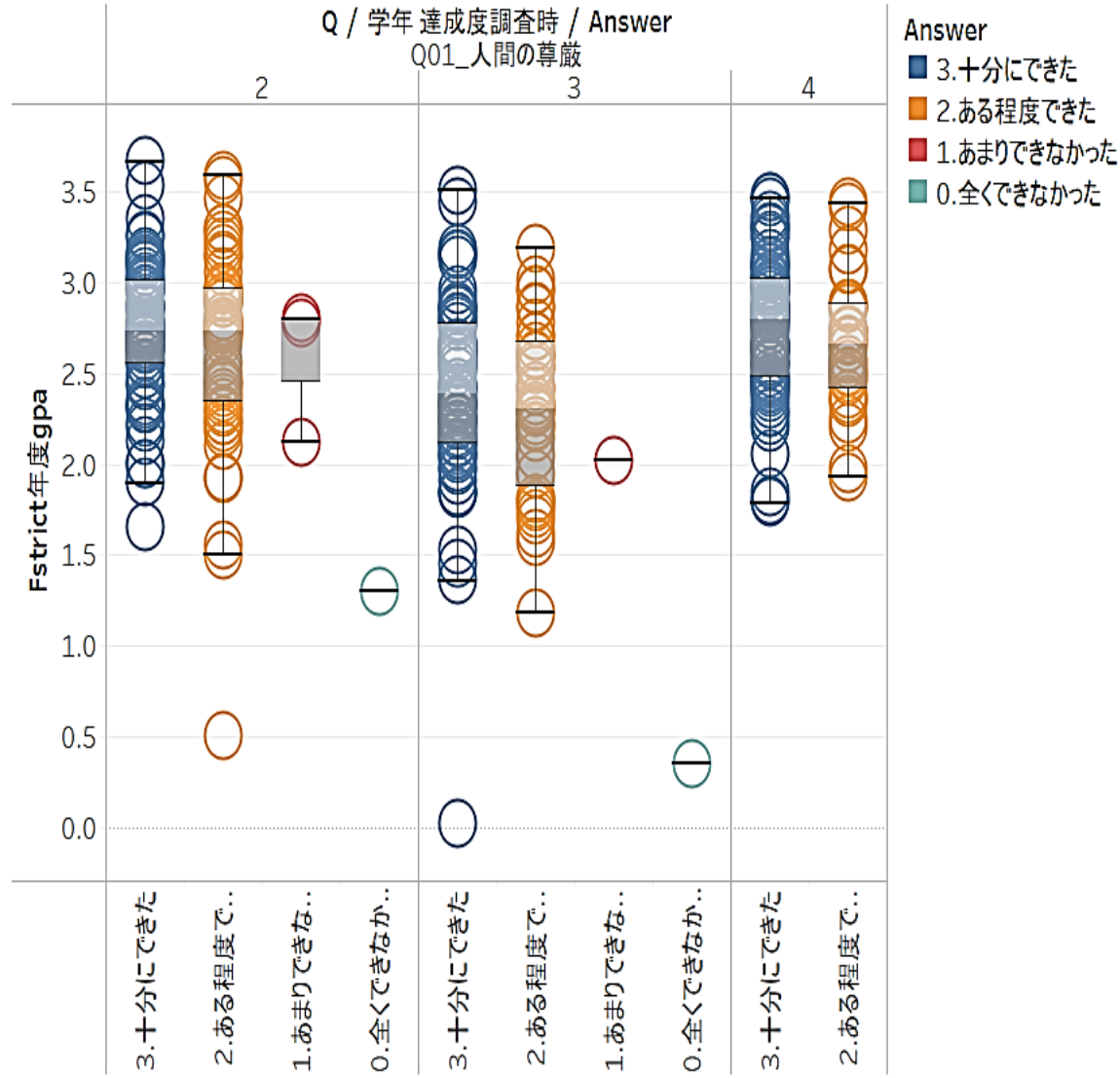
下記のとおりに点数化し、
各自の合計点を算出

- 3点:十分にできた
- 2点:ある程度できた
- 1点:あまりできなかった
- 0点:全くできなかった

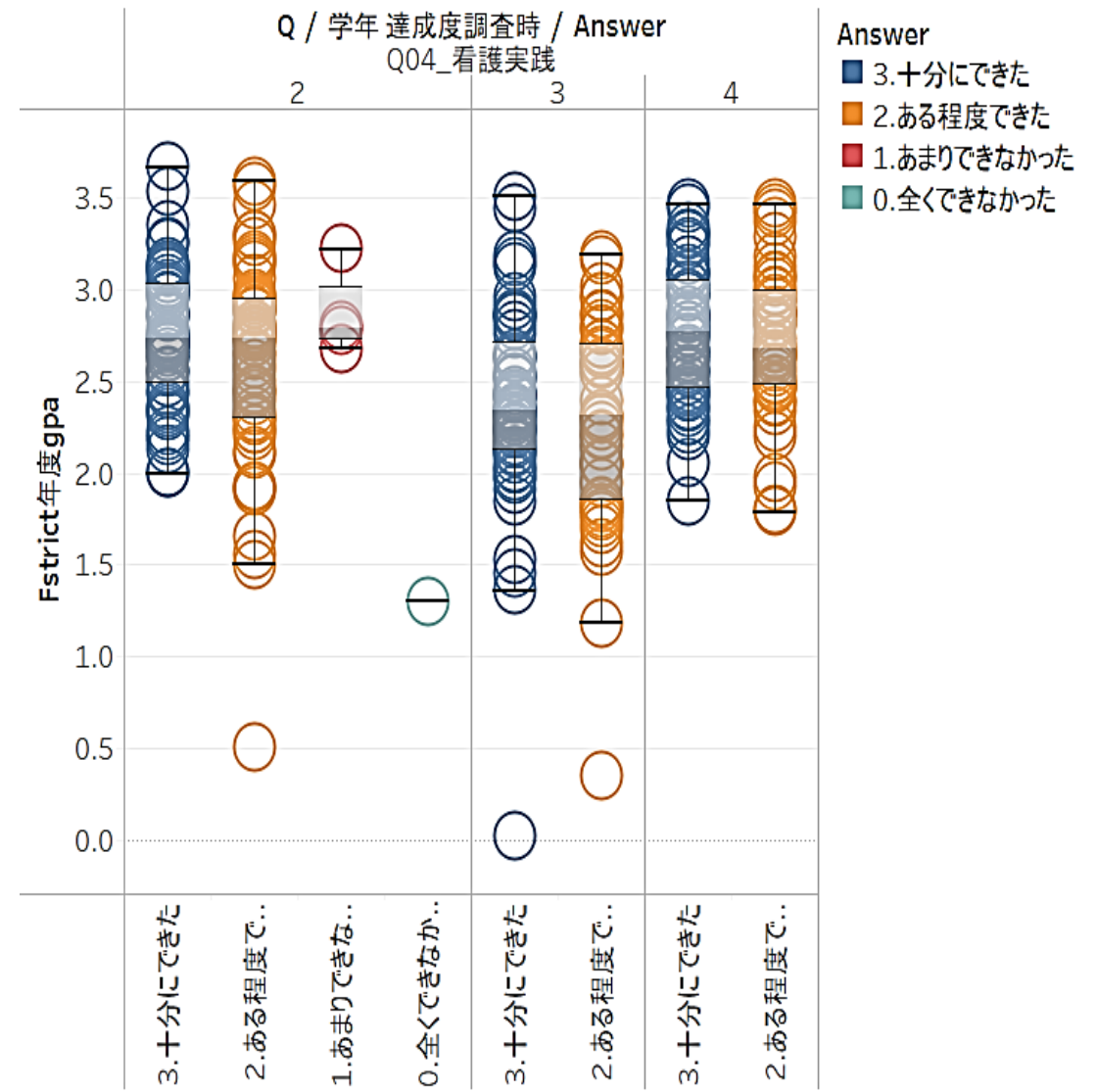
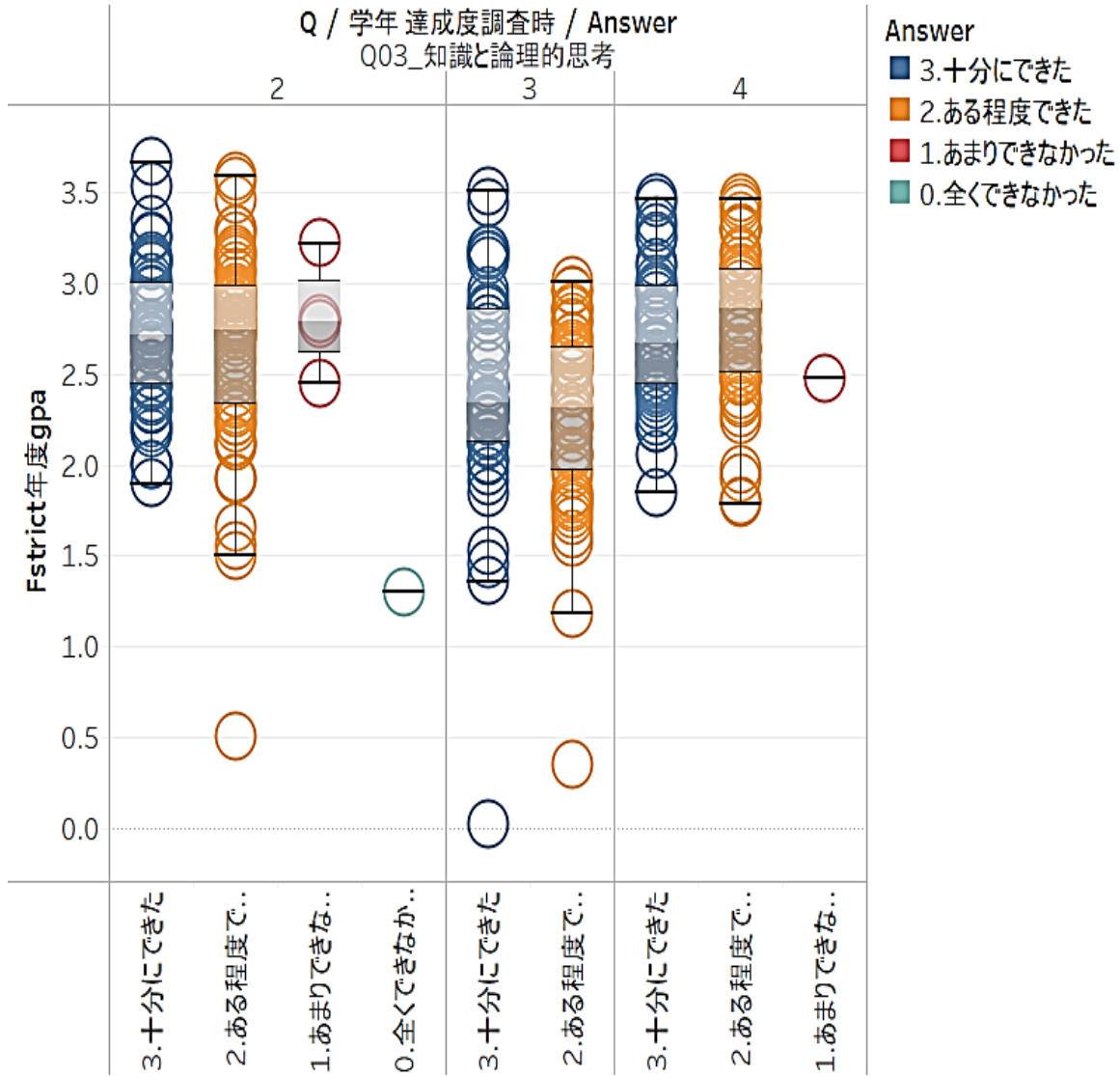
回答までの経過日数とGPA(2021年度)の関連



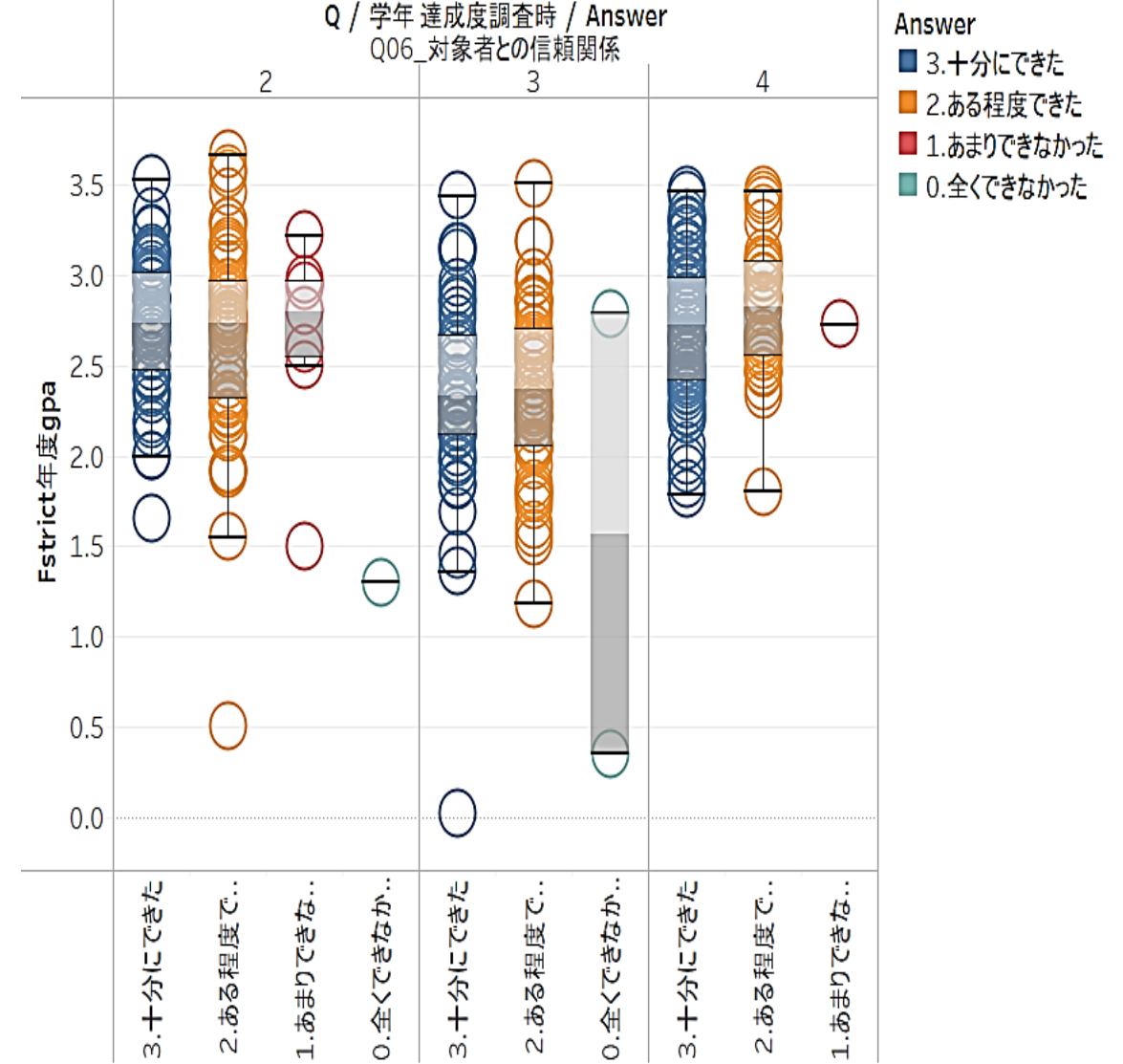
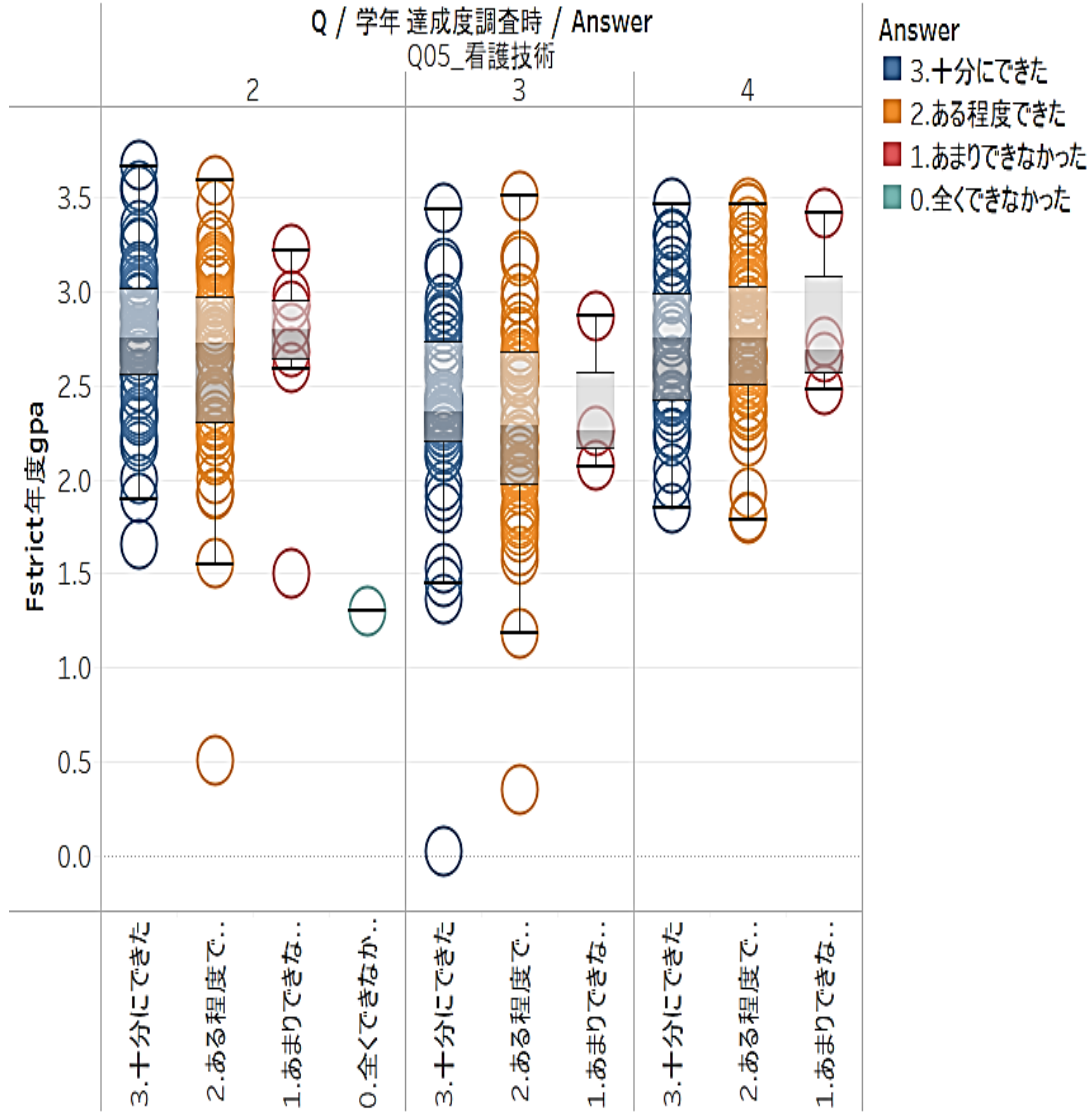
参照：修学成果到達度の各設問回答とGPAの関連（Q.01, Q.02）



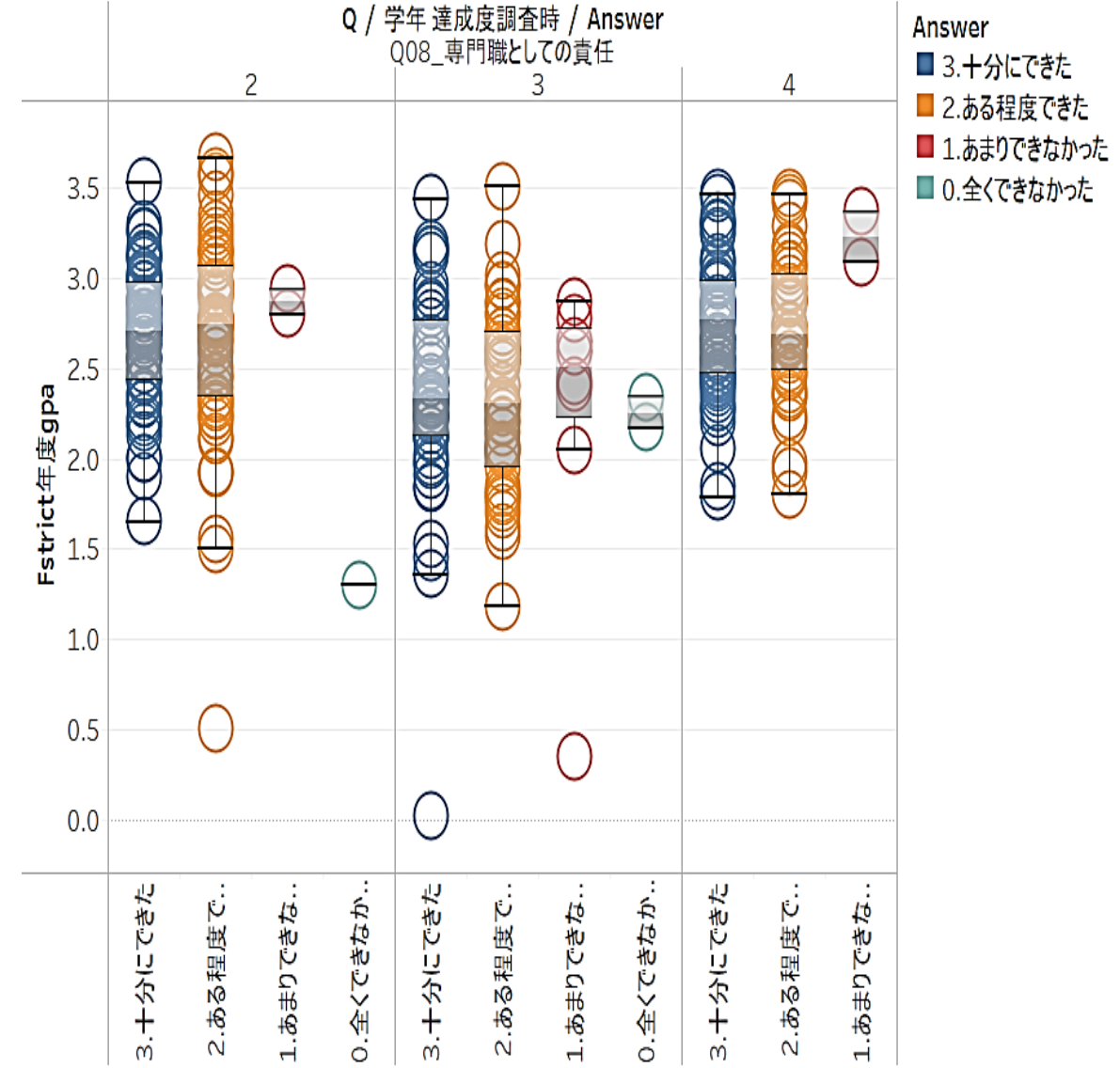
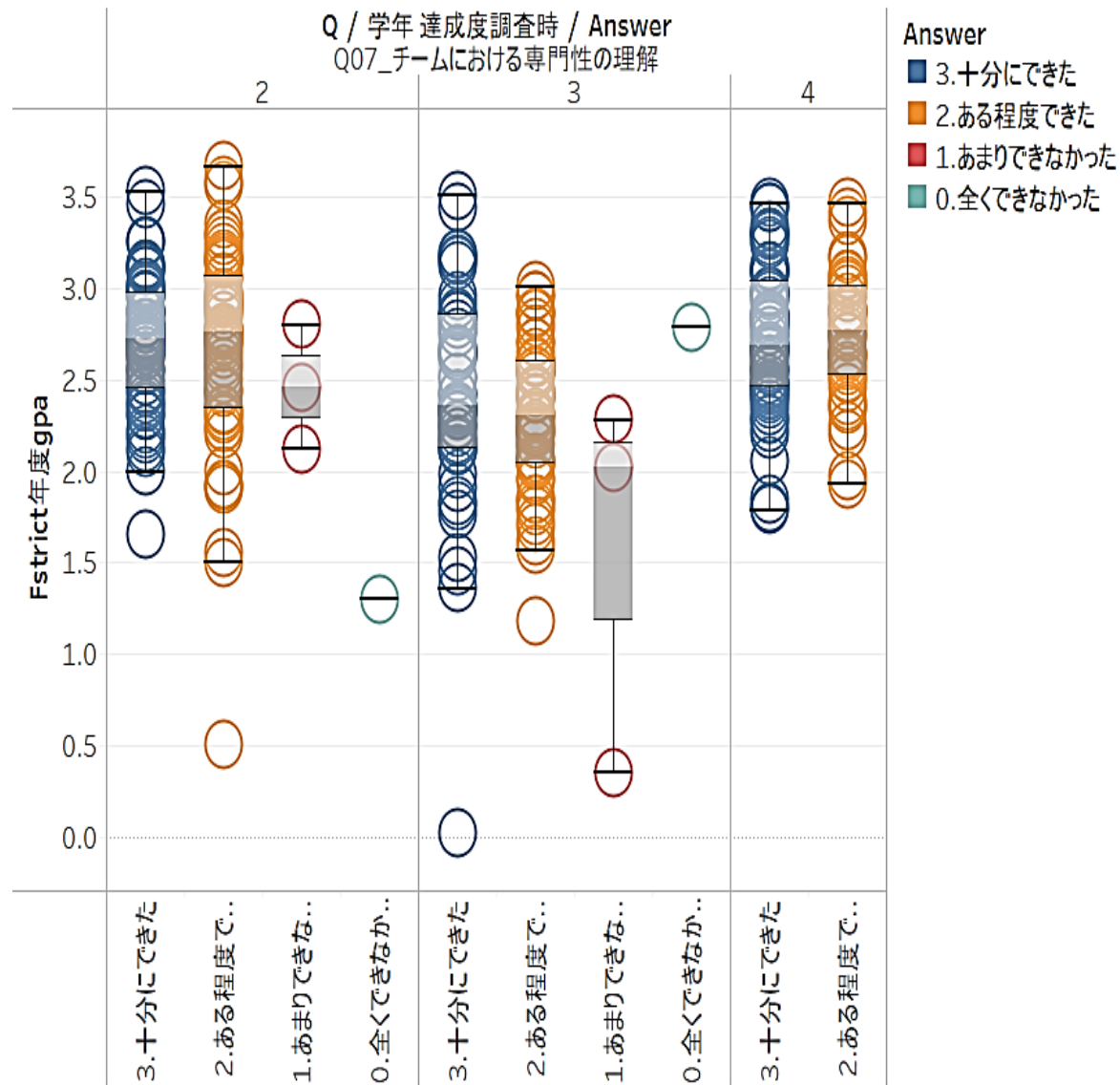
参照：修学成果到達度の各設問回答とGPAの関連（Q.03, Q.04）



参照：修学成果到達度の各設問回答とGPAの関連（Q.05, Q.06）



参照：修学成果到達度の各設問回答とGPAの関連（Q.07, Q.08）



参照：修学成果到達度の各設問回答とGPAの関連（Q.09, Q.10）

